

---

# e news SEaweEDS No.25

---

## 日本海藻協会ニュース

2010年4月15日

### I. 協会事務局から

#### 1. 秋季藻類シンポジウム

恒例の秋季藻類シンポジウムのテーマについてご希望をお知らせください。また、このシンポジウムの講師をご推薦下さい。いずれも協会事務局宛にお願いします。

#### 2. 2010年度会費の納入（お願い）

すでに E-mail で別途お願いしましたが、2010年度の会費（正会員 30,000円、準会員 10,000円）をまだ納入されていない会員は至急納入してください。

### II. 海藻関連ニュース

#### 1. 第60回浅海増殖研究発表全国大会

浅海増殖研究中央協議会と全国海苔貝類漁業協同組合連合会共催の第60回浅海増殖研究発表全国大会が**2010年6月8日11:00～16:30**に都久志会館（福岡市・天神）で開催されます。参加費は3,000円（弁当代を含む）です。

問合先：全国海苔貝類漁業協同組合連合会（〒272-0014 千葉県市川市田尻3-4-21 Tel.047-379-4433 Fax. 047-377-7808）。

#### 2. 第15回国際食品素材/添加物展・会議&第8回ヘルスフードエキスポ

㈱食品科学新聞社主催・日本イージェイケイ(株)共催の第15回国際食品素材/添加物展・会議&第8回ヘルスフードエキスポ（ifia JAPAN/HFE JAPAN 2010）が**2010年5月19-21日**に東京ビッグサイト西1・2ホール（東京・有明）で開催されます。詳細は <http://www.ifiajapan.com/> をご覧ください。

### 3. 第13回マリンバイオテクノロジー学会大会

第13回マリンバイオテクノロジー学会大会が2010年5月29日-30日に広島大学東広島キャンパス生物生産学部C棟(東広島市)で開催されます。詳細は <http://www.soc.nii.ac.jp/jsmb/> をご覧ください。

### 4. 第5回ヨーロッパ藻類学会議

ヨーロッパ藻類学会連合(European Union of Phycological Societies)主催の第5回ヨーロッパ藻類学会議(The 5th European Phycological Congress, EPC5)が”Exploring the Phycocosmos: A European Perspective”をテーマに2011年9月4-9日にギリシャのロードス島(Rhodos Palace Hotel)で開催されます。詳細はウェブサイト [www.epcv.gr](http://www.epcv.gr) をご覧ください。

## III. カレンダー

- 2010.5.19-21. 第15回国際食品素材/添加物展・会議&第8回ヘルスフードエキスポ(東京・有明、東京ビッグサイト西1・2ホール)
- 2010.5.29-30. 第13回マリンバイオテクノロジー学会大会(東広島市、広島大学・生物生産学部)
- 2010.6.8. 第60回浅海増殖研究発表全国大会(福岡市・天神、都久志会館)
- 2011.9.4-9. 第5回ヨーロッパ藻類学会議(ギリシャ、ロードス島)

## IV. 新刊書・新製品案内

1. 熊井英水・宮下盛・小野征一郎(編著): 近畿大学プロジェクト クロマグロ完全養殖. A5判・252頁・3,780円(税込). 成山堂書店(2010).
2. 海野徹也: クロダイの生物学とチヌの釣魚学(ベルソープックス033). 四六判・186頁・1,680円(税込). 成山堂書店(2010).
3. 齊藤宏明: 海のトワイライトゾーン -知られざる中深層生態系- (ベルソープックス034). 四六判・160頁・1,680円(税込). 成山堂書店(2010).
4. 松田浩一: イセエビをつくる(ベルソープックス035). 四六判・192頁・1,680円(税込). 成山堂書店(2010).

## V. 海藻 Q & A

**Q 26**— “ISA” と “ISS” について教えてください。

**A**—ISA は International Seaweed Association (国際海藻協会)、ISS は International Seaweed Symposium (国際海藻シンポジウム) の略です。世界各国の持ち回りで開催される国際海藻シンポジウムを主催する母体が国際海藻協会です。海藻の応用研究(利用)と基礎研究に関する研究成果の発表と交流を目的としています。第1回国際海藻シンポジウムは1952年にスコットランドのエジンバラで開催されました。以後、ほぼ3年毎に開催されており、今年の2月にはエンセナダ(メキシコ)で第20回が開催されました。日本では、1971年に第7回が札幌で、2007年に第19回が神戸で開催されました。毎回の参加登録者をISAの会員とし、参加登録費の一部がISAの運営に用いられています。原則として次回のISSまでが会員の有効期間で、次のISSの参加案内(ファースト・サーキュラー)が届くことになっています。

ISAの運営については、12名のメンバーから成るISA Councilがその中から会長(President)と副会長(次期会長 President-elect)を選出し、その下で協議が行われ、事業が実施されます。Councilメンバーの任期は3期9年以上12年までとされ、欠員が生じた場合は専門分野や地域等を考慮して複数の候補者が推薦され、メンバーの投票により後任が決定されます。ISA CouncilはISS開催直前に会合を持ち、主要な役目は次のISS開催地を決め連続性を維持することです。ISSにおける研究発表の内容はProceedings of the International Seaweed Symposiumとして毎回出版されています。ISAおよびISSに関する詳細は<http://www.isaseaweed.org>をご覧ください。

なお、次の第21回国際海藻シンポジウム(XXI-ISS)は2013年にインドネシアのバリ島で開催されることになっています。

**お詫び:** 先月の「海藻 Q&A」で「Q24」となっているのは「Q25」の誤りです。お詫びして訂正いたします。

### これまでのQ&A

**Q 1**—「海藻」と「海草」は同じですか。(No.2に掲載)

**Q 2**—ノリの「色落ち」って何ですか。(No.2に掲載)

**Q 3**—海藻が多様な色彩を呈するのはなぜか?(No.3に掲載)

- Q4ーコンブやワカメは湯通しするとなぜ緑色になるのか？ 焼き海苔はなぜ緑色か (No.3  
に掲載)
- Q5ー海苔が湿気ると赤紫色になるのはなぜか？ (No.3 に掲載)
- Q6ーテングサという種名の海藻はないのですか？ (No.4 に掲載)
- Q7ー「うみぶどう」は海藻の名前ですか？ (No.5 に掲載)
- Q8ー「キラー海藻」って何？ (No.6 に掲載)
- Q9ー日本の海苔は輸出されていますか？ (No.6 に掲載)
- Q10ー「髪菜 (はっさい)」は海藻ですか？ (No.7 に掲載)
- Q11ー中国で栽培 (養殖) されているノリは日本のノリと同じですか？ (No.8 に掲載)
- Q12ー「岩のり」と「青のり」は違うものですか？ (No.9 に掲載)
- Q13ー「心太」と書いて「トコロテン」と読むのはなぜですか？ (No.10 に掲載)
- Q14ー「鰯浦こんぶ」はコンブですか？ (No.11 に掲載)
- Q15ー日本産海苔の輸出状況はどのようになっていますか？ (No.12 に掲載)
- Q16ー「磯焼け」って何？ (No.13 に掲載)
- Q17ー「寒天」と「ところてん (心太)」はどう違うのですか？ (No.14 に掲載)
- Q18ー「はんば」って何？ (No.15 に掲載)
- Q19ー「みずこんぶ」(水こんぶ) とは？ (No.17 に掲載)
- Q20ーわかめ(若布)の製品にはどのようなものがありますか？ (No.18 に掲載)
- Q21ー 有毒な海藻はありますか？ (No.19 に掲載)
- Q22ー「とろろこんぶ」(商品名)はトロロコンブ(種名)からつくられますか？ (No.21に  
掲載)
- Q 23ーカワノリは淡水産ですか？ (No.22 に掲載)
- Q 24ー「のりの佃煮」の原料海藻は何ですか？ (No.23 に掲載)
- Q 25ー“ドゥルー祭”について教えてください。

☆☆  
この協会ニュースは、主として会員の皆様からの情報・資料に基づいて、月  
1回(毎月15日付で)発行されます。情報・資料を下記宛にご提供下さい。

〒101-0031 東京都千代田区東神田 2-1-11 第一坂本ビル 7F

マリン・サイエンス株式会社 内

## 日本海藻協会事務局

編集者：有賀祐勝 ([arugay@mx4.ttcn.ne.jp](mailto:arugay@mx4.ttcn.ne.jp))

☆☆